

平成21年11月18日

内閣総理大臣 鳩山 由紀夫 様  
国土交通大臣 前原 誠司 様

社) 北海道自然保護協会 会長 佐藤謙  
北海道自然保護連合 代表 寺島一男  
富川北一丁目沙流川被害者の会 代表 中村正晴  
平取ダム建設問題協議会 代表 松井和男  
苫小牧の自然を守る会 代表 館崎やよい  
イテキ・ウエンダム・シサムの会 代表 佐々木義治  
平取ダム建設で失われる自然を守る会 代表 中村智子  
自然林再生ネットワーク 代表 前田菜穂子

## 沙流川総合開発事業の予算措置に関する要望書

貴職、内閣総理大臣および国土交通大臣を初めとする新政権は、目下22年度予算編成に関連して過去の矛盾を根本的に解決すべく日夜ご奮闘されていますこと、私たちは高く評価するところです。特に、ダム問題は全国的に解決すべき差し迫ったテーマとされておりますが、私達は、北海道の平取ダムと二風谷ダムに関して、以下の3点を強く要望いたします。

1. 二風谷ダムにおける早急な堆砂対策
2. 平取ダムの建設中止
3. 二風谷ダム撤去を近い将来の視野に入れた、沙流川流域におけるダムによらない河川計画を検討する協議会発足

### 要望内容の説明

#### 1. 二風谷ダムにおける早急な堆砂対策

沙流川総合開発事業の中で、建設・運用後12年に当たる二風谷ダムでは、堆砂量がすでに百年想定堆砂量の2倍、ダム容量の4割まで達しておりますので、早急な堆砂対策を何よりも優先しなければならない現状にあります。私たちダム下流域の住民は、この二風谷ダムが出来てからすでに4回の洪水被害を被っておりますが、それはダム建設以前よりかえって増えたと判断しております。また、ダムへの堆砂が多い反面、ダムを超えて流下する物質はヘドロのような泥となっております。二風谷ダムから取水している下流域の農耕地では、泥入りの水を使わざるをえず、農作物の被害に苦しめられております。このように、私たち地元の住民は、二風谷ダムが建設されて以来不安に怯えております。二風谷ダムは日々危険度を増し、抜き差しならぬ状況であるので、早急の対策が必要です。

## 2. 平取ダム建設中止

前原国土交通大臣が凍結を発表された平取ダムにつきましては、早急に「中止」のご決断を要望いたします。なぜならば、平取ダムは、前項で述べた二風谷ダムの上流側に計画され、そこでの堆砂は地質学的に同じ条件にあり、二風谷ダムと同様に堆砂問題が強く危惧されるからです。すなわち、平取ダムの建設は、二風谷ダムの過ちをさらに増幅させると問題視されますので、建設中止は当然と考えます。

## 3. 二風谷ダム撤去を近い将来の視野に入れた、沙流川流域におけるダムによらない河川計画を検討する協議会の発足

前項まで述べましたように、平取ダム建設中止を早急に確定されますよう要望した上で、来年度の予算策定では、二風谷ダムの堆砂対策費とともに、ダムによらない治水計画、堤防強化などの対策を検討する協議会の発足費用を要望いたします。